

# 水稻生育情報 (No.1)

平成29年6月6日  
県西農林事務所 経営・普及部門  
(筑西地域農業改良普及センター)

## 【生育概況】

本年5月気象は、気温が平年よりも1.6℃高く、降水量は平年の45%と少なく、日照時間は20%多くなりました。

水稻定点調査における管内の「コシヒカリ」生育状況を下表に示します。5月31日現在の生育は平年に比べやや早まっています。草丈は高く、莖数は多く、葉色はやや淡くなりました。

表1 水稻定点調査結果 (5月31日時点)

調査地点	田植え日 月/日	植付株数 株/坪	草丈 cm	莖数 本/m <sup>2</sup>	葉色	
					葉色版	SPAD値
筑西市	5月2日	59	31.6	440	4.9	40.2
一本松	(5月2日)	(62)	(30.0)	(322)	(4.7)	(39.5)
下妻市	5月3日	47	31.1	303	4.8	39.6
加養	(5月1日)	(47)	(31.5)	(233)	(5.4)	(42.2)
桜川市	5月16日	62	28.0	90	3.6	31.5
元岩瀬	(5月12日)	(58)	(24.9)	(113)	(4.0)	(32.7)
桜川市	5月5日	56	29.9	200	4.5	38.1
真壁町飯塚	(5月6日)	(53)	(27.3)	(159)	(4.6)	(37.3)

( )内は平成24~28年(5ヵ年平均値) ※桜川市真壁町飯塚は過去4ヵ年の平均値

## 【これからの栽培管理のポイント：中干し】

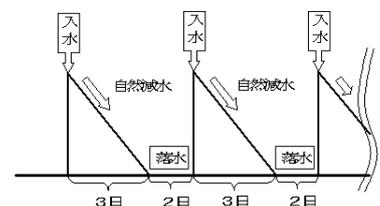
- ・5月上旬までに移植した場合、既に中干し開始時期になっているところがあります。分けつ盛期になると莖数は急激に増えるので、中干しの適期を逃さないようにしましょう。
- ・過剰な分けつは無効分けつや倒伏を助長します。
- ・田面を固めることで、収穫直前まで落水時期を遅らせても機械作業に必要な地耐力が確保できます。落水を遅らせることで、乳白粒の発生抑制や千粒重の増大にもつながります。
- ・中干し期間中に葉色が低下しますが、追肥は控え、穂肥まで待ちましょう。

### 中干しの時期と方法 (コシヒカリ)

開始時期	莖数330本/m <sup>2</sup> 程度となったとき (坪60株で18本/株) 田植え35日後が目安
実施期間	葉色が濃い場合 (葉色値で4.5以上) 15~20日 葉色が薄い場合 ( // 4.5程度) 10~12日
終了時期	葉色が4.0程度に落ちた時期 幼穂形成期 (出穂の30日前) までには終了
中干し 程度	田面に亀裂が生じ、軽く足跡がつく程度 水保ちの良い水田では強め、水はけの良い水田では弱めに実施

## 【中干し後の管理について】

- ・中干し後のイネの根は畑作物に似た形質を示し、常時湛水で管理していると根腐れを起こす危険が高まるため、根の活力保持のためにも間断かん水を行いましょ。
- ・2~3日湛水管理(入水後自然落水)し、落水状態を1~2日程度保つサイクルを繰り返します。落水時には田面が多少乾いても問題ありません。



※間断かん水の一例